

健康を陰で支える人体組織(ヒトモノ)の世界  
—わが国の現況と課題分析から描く未来への道—  
骨子版

松村外志張<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>ヘルス アンド サイエンス クロスロード

〒232-0071 横浜市南区永田北 1-3-3-1

連絡先: <https://hascross.yokohama/contact/>

人体から摘出された臓器、組織、細胞(以下、唄孝一先生の命名に従ってヒトモノと称します)は、近年福祉に大きく貢献しています。それに伴って提供されたヒトモノは世界中で貴重なものとなっています。しかし、死体からの臓器提供で代表される人口当たりのヒトモノ提供者数は、国によって大きく異なっているのが実情です。例えば欧米の多くの国では人口 100 万人あたりの提供人数(PMP 値)が近年 20 人以上であるのに対し、日本を含むいくつかの国では一人以下となっています。

調査から、日本では大多数の国民に臓器提供の意志があるにもかかわらず、実際に提供に至る件数が少ないという結果がでています。

結果として、ヒトモノの提供を基にした福祉・社会活動が全般に低調であるばかりでなく、海外からの善意によるヒトモノの提供が海外への提供よりも遥かに大きいという不均衡状態にあり、社会福祉や国際貢献の分野でのチャンスやメリットが日本から大きく失われているという状況にあります。

一方で、提供されたヒトモノを取り扱う医療や科学、産業などの社会活動が日本でとりわけて未発達というわけでもなく、ヒトモノに関連する社会活動の恩恵を受けることに抵抗があるというわけでもなく、また日本における市民の知的水準が、これら先進的な活動を取り入れられないほど低い、というわけでもないでしょう。ただし日本の法制度が、病理検査と臓器移植だけが問題とされていた時代以来かならずしも十分に強化されてこなかったことは事実でしょう。

この間にヒトモノの概念は様変わりしました。第一にヒトモノ、とくに細胞、については培養と保存の知識技術が進んで、すでに数十年、可能性として百年以上も体外で保存し、生育させ、維持することができるようになりました。第二に遺伝子発現の制御の仕組みがわかってきて、体細胞から臓器・組織を再生させることが可能となり、さらに一個の体細胞から完全な人体そのものをも再構築する可能性さえ示唆されるようになってきています。

この間、ヒトモノの問題は、移植のための臓器提供に係わる脳死の問題の場合を除くと、日本では長い間、専門家の間でしか議論されてこなかった傾向があります。

その結果が臓器移植医療も含めたわが国でのヒトモノ取扱の貧困を来しているのではないのでしょうか。

このセミナーでは、一般市民の皆さまがヒトモノに関する問題全体を把握され、行動に移される際の参考としていただけるような基礎情報の提供を試みました。

第一段階では、誰もが与えられている臓器提供意志表示カードに注目しました。日本では意思表示カードとして提供されているものは移植用のみですが、ここでは、提供した臓器を取扱う分野や条件を医療や病理研究以外の分野も含めて意思表示することが問題解決に力となるのではないかと、という予測です。

いま一つの行動の可能性は、問題解決には法律の整備が不可欠であろうとの考えから、国あるいは地方自治体等における選挙の機会に立候補者に対してヒトモノ問題の解決にどのような考えを持っているかを問い、回答を求めるという試みです。立候補者のこの問題への関心をもってもらうこと、ならびに投票にあたっての評価に供することが問題解決に寄与するとの予測です。

第二段階では、倫理観についての検討材料を提起しています。検討のきっかけとして、ここではたたき台として以下 5 つの倫理原則を提案しています。

第一原則 自律性の尊重と人間ならびにヒトモノへの敬意の原則

第二原則 ヒトモノへの適用を配慮した仁恵原則

第三原則 ヒトモノへの適用を配慮した正義の原則

第四原則 ヒトモノの人間性尊重原則

第五原則 ヒトモノの無償性原則

その中で「正義の原則」では、提供される人の組織は、福利を社会にもたらそうとするいかなる取扱に対しても平等に機会を与えられるべきであると提案しています。また「人間性尊重原則」では、人間のみでなく、人間に由来するヒトモノの人間性をも尊重する立場から、ヒトモノに対する所有権を認めず、一方で自律性を持たないヒトモノに対して被保護権を設定すべきことを提案しています。ただしヒトモノを取扱うための費用や、加工することによって得られる付加価値に対する対価は認めるとの立場を提案しています。

さらに倫理原則を確保するための法的メカニズムについても検討の材料を提供しています。

ヒトモノの提供が十分に行われなことは、日本だけでなく多くの国の問題でもあります。従って、ここで提供する検討材料は、それらの国にとっても有益なものとなり得ましょう。

20211120版

キーワード: 健康、ヒト、ヒトモノ、臓器、組織、細胞、移植、医学、科学、生物、分子、産業、臨床、再生、倫理、法、社会